

日本腰痛学会評議員会議事録

開催日時：平成 22 年 10 月 29 日(金) 17:00~18:00

開催場所：札幌プリンスホテル国際館パミール 5 階「北彩」

議長：星野 雄一 会長

出席者：理事 10 名、評議員 29 名

会長挨拶

星野会長より挨拶があり、Spine week Japan として 3 学会の共同開催とし、先に開催した日本側弯症学会、日本インストルメンテーション学会では例年以上の参加者数が得られたこと、および第 18 回日本腰痛学会について演題は 143 題であり、採択率は 90%であったことが報告された。

議事

I. 報告事項

1. 庶務報告

1) 平成 21 年度事業報告

(1) 学術集会の開催

第 18 回学術集会在開催平成 22 年 10 月 30 日(土)

札幌プリンスホテル国際館パミール(星野 雄一会長)にて開催予定である。

(2) 委員会の開催

平成 22 年 10 月 29 日 理事会、評議員会、10 月 30 日編集委員会が開催予定である。

平成 22 年 4 月 24 日(高知)、5 月 30 日(東京)、9 月 10 日(東京)に腰痛診療ガイドライン策定委員会が開催された。

(3) 学会誌の発行

平成 22 年 7 月 25 日に JSR 第 1 巻 7 号を発行した。投稿論文数は 32 編である、内容は一般投稿 25 編、特別寄稿 2 編、学会の主題からの特集 5 編である。

(4) 会員の動向

平成 22 年 10 月 18 日現在の会員数は 855 名、新入会者 112 名、退会者 50 名、報告があった。物故会員 3 名に対して黙祷が捧げられた。

II. 審議事項

1. 平成 21 年度決算報告

配付資料に基づき決算報告がなされ、監事よりの会計監査結果が報告され、承認された。

2. 平成 22 年度の事業計画、予算案審議

学術集会開催、学会誌発行、委員会開催予定および予算案が提出され、承認された。

1) 第 19 回学術集会の概要:会長 佐藤栄修先生 (えにわ病院副院長)

会期 平成 23 年 9 月 2, 3 日 (金土)

会場 さっぽろ芸文館

2) 学会誌の発行: JSR 第 2 巻 6 号 平成 23 年 6 月 20 日予定に発刊予定

投稿の締め切りは平成 22 年 12 月 15 日とする。

3) 委員会の開催: 評議員会、理事会 平成 23 年 9 月

編集委員会 平成 23 年 9 月

腰痛診療ガイドライン策定委員会 適宜開催予定

3. 次々々期会長の選出について

東海大学教授 持田 譲治先生が推薦され、承認された。

4. 次々々々期会長の選出について

千葉大学教授 高橋 和久先生が推薦され、承認された。

5. 特別会員について

今井 健先生 (りゅうそうクリニック院長)、鈴木 信治先生 (NTT 西日本東海病院
名誉院長) が推薦され、承認された。

6. 新役員・評議員について

新理事 持田譲治先生 (東海大学教授)

新監事 久野木順一先生 (日赤医療センター脊椎整形外科部長)

新評議員 市村正一先生 (杏林大学整形外科臨床教授)、

遠藤健司先生 (東京医科大学整形外科講師)、

徳橋泰明先生 (日本大学整形外科教授)、

波呂浩孝先生 (山梨大学整形外科教授)、

松平 浩先生 (関東労災病院筋・骨格系疾患研究センター長)、

宮腰尚久先生 (秋田大学整形外科准教授) が推薦され、承認された。

6 名の新評議員が承認されたが、6 名の任期満了による退任があり評議員の総数に変動は
なかった。定員について質問があり、現在 55 名であるが適任者がいれば推薦して頂いて
も良いのではないかとの意見があり、同意された。また、活動していない評議員につい
ては 2 年に一度の見直しのときに本人の継続の意思を確認することとなった。

7. 新会員入会について

理学療法士 1 名の入会申し込みがあったが、業績がないため承認が難しく、今回の発表
を業績として来年再申請して頂く事とした。また、推薦人は署名だけでなく、推薦理由

を記載することとなった。

8. 2010 年優秀論文賞について

選考委員会による審議の結果、九段坂病院整形外科 大谷和之先生の論文 “腰部脊柱管狭窄症に対する拡大開窓術の長期成績” に決定した。

9. 会則改訂（内規 11 項）について

会員、役員、委員に関する内規 11. “事務局担当理事は本会事務を担当する日本医科大学整形外科主任教授が務める。” を “本会の事務局は東京都文京区千駄木 1-1-5 日本医科大学整形外科教室内に置く。” に変更する提案がなされ、承認された。

III. 次期会長挨拶

第 19 回日本腰痛学会会長として佐藤栄修先生（えにわ病院 副院長）が挨拶され、会期は平成 23 年 9 月 2.3 日（金土）さっぽろ芸文館にて開催予定の旨が報告された。

第 20 回日本腰痛学会会長として永田見生先生（久留米大学整形外科 教授）から挨拶され、平成 24 年に Spine week Japan として同時開催する点について検討中であると報告された。